



陸上自衛隊中央即応集団

Central Readiness Force

平成19年より続いた陸上自衛隊中央即応集団は、平成30年3月に発展的解消をし『陸上総隊』として生まれ変わります。



CRF11年のあゆみ

- 19年3月 中央即応集団編成完了。初代司令官・山口浄秀 陸将着任
- 3月 国連ネパール政治ミッション
- 3月 朝霞駐屯地において発足式典挙行
- 7月 新潟県中越沖地震災害派遣
- 8月 ゴラン高原派遣輸送隊24次要員派遣
- 9月 インドネシアスマトラ南部地域地震対応
- 20年3月 ゴラン高原派遣輸送隊25次要員派遣
- 3月 第1ヘリコプター団(改編)
- 3月 中央即応連隊(新編)
- 3月 中央特殊武器防護隊(新編)
- 3月 対特殊武器衛生隊(新編)
- 6月 岩手・宮城内陸地震災害派遣
- 6月 国連スーダンミッション司令部要員派遣
- 7月 洞爺湖サミット支援
- 8月 第2代司令官・柴田幹雄 陸将着任
- 8月 ゴラン高原派遣輸送隊26次要員派遣
- 8月 ゴラン高原派遣輸送隊27次要員派遣
- 8月 派遣海賊対処行動航空隊第1次要員派遣
- 10月 ゴラン高原派遣輸送隊28次要員派遣
- 10月 インドネシア国際緊急医療援助隊派遣
- 10月 派遣海賊対処行動航空隊第2次要員派遣
- 12月 第3代司令官・宮島俊信 陸将着任
- 22年1月 ハイチ国際緊急援助隊派遣
- 2月 派遣海賊対処行動航空隊第3次要員派遣
- 2月 国連ハイチ安定化ミッション第1次要員派遣
- 2月 ゴラン高原派遣輸送隊29次要員派遣
- 2月 国連ハイチ安定化ミッション第2次要員派遣
- 2月 派遣海賊対処行動航空隊第4次要員派遣
- 3月 ゴラン高原派遣輸送隊30次要員派遣
- 3月 国連ハイチ安定化ミッション第3次要員派遣
- 3月 パキスタン国際緊急航空援助隊派遣
- 3月 国連東ティモール統合ミッション要員派遣
- 8月 派遣海賊対処行動航空隊第5次要員派遣
- 11月 APEC会議支援
- 23年1月 派遣海賊対処行動航空隊第6次要員派遣
- 2月 ゴラン高原派遣輸送隊31次要員派遣
- 2月 国連ハイチ安定化ミッション第4次要員派遣
- 2月 東日本大震災に伴う災害派遣・原子力災害派遣
- 3月 派遣海賊対処行動航空隊第7次要員派遣
- 3月 第4代司令官・藤崎護 陸将着任
- 3月 ゴラン高原派遣輸送隊32次要員派遣
- 3月 国連ハイチ安定化ミッション第5次要員派遣
- 8月 派遣海賊対処行動航空隊第8次要員派遣
- 10月 国連スーダン共和国ミッション司令部要員派遣
- 24年1月 第5代司令官・山本洋 陸将着任
- 1月 派遣海賊対処行動航空隊第9次要員派遣
- 2月 ゴラン高原派遣輸送隊33次要員派遣
- 2月 国連ハイチ安定化ミッション第6次要員派遣
- 2月 派遣海賊対処行動航空隊第10次要員派遣
- 2月 国連スーダン共和国ミッション第2次要員派遣
- 3月 第6代司令官・日高政広 陸将着任
- 3月 国連ハイチ安定化ミッション第7次要員派遣
- 3月 派遣海賊対処行動航空隊第11次要員派遣
- 3月 国連スーダン共和国ミッション第3次要員派遣
- 3月 ゴラン高原派遣輸送隊 隊旗返還式
- 3月 派遣海賊対処行動航空隊第12次要員派遣
- 3月 ハイチ国際救援隊派遣 隊旗返還式
- 3月 司令官付隊が朝霞駐屯地から座間駐屯地へ移駐
- 3月 派遣海賊対処行動航空隊第13次要員派遣
- 3月 国連スーダン共和国ミッション主力第4次要員派遣
- 3月 派遣海賊対処行動航空隊第14次要員派遣
- 3月 フィリピン国際緊急援助隊出国
- 25年1月 国連スーダン共和国ミッション第5次要員派遣
- 1月 派遣海賊対処行動航空隊第15次要員派遣
- 1月 国連スーダン共和国ミッション第6次要員派遣
- 2月 派遣海賊対処行動航空隊第16次要員派遣
- 2月 第7代司令官・川又弘道 陸将着任
- 2月 派遣海賊対処行動航空隊第2次要員派遣
- 2月 国連スーダン共和国ミッション第7次要員派遣
- 2月 第1空挺団(改編)
- 2月 ネパール国際緊急援助隊医療援助隊出国
- 2月 国連スーダン共和国ミッション第8次要員派遣
- 2月 派遣海賊対処行動航空隊第4次要員派遣
- 2月 関東・東北豪雨災害派遣
- 2月 国連スーダン共和国ミッション第9次要員派遣
- 2月 派遣海賊対処行動航空隊第5次要員派遣
- 2月 熊本地震災害派遣
- 2月 伊勢志摩サミット支援
- 29年2月 国連スーダン共和国ミッション第10次要員派遣
- 29年2月 第8代司令官・小林茂 陸将着任
- 29年2月 派遣海賊対処行動航空隊第6次要員派遣
- 29年2月 派遣海賊対処行動航空隊第7次要員派遣
- 29年2月 千葉県旭市における鳥インフルエンザに係る災害派遣
- 29年2月 南スーダン国際平和業務の活動終了に係る撤収支援隊の出国
- 29年2月 東北地区における山林火災に係る災害派遣
- 29年2月 国連スーダン共和国ミッション派遣施設隊 隊旗返還式
- 29年2月 国連スーダン共和国ミッション撤収支援隊を基に後送業務隊編成
- 29年2月 後送業務隊帰国
- 29年2月 派遣海賊対処行動航空隊第8次要員派遣
- 29年2月 派遣海賊対処行動航空隊第9次要員派遣
- 30年1月 中央即応集団廃止



座間市役所にて移転完了報告



移転完了

CRF 設立の意義

陸上自衛隊は、ゲリラや特殊部隊による攻撃等の各種の事態が生じた場合に事態の拡大防止等を図るため、国内においては機動運用部隊や各種専門部隊を管理し事態発生時に各地に部隊を迅速に派遣できるように、また国外においても国際平和協力活動等のための部隊を迅速に派遣できるよう「中央即応集団」を設立。

中央即応連隊

中央特殊武器防護隊

対特殊武器衛生隊

第1空挺団

特殊作戦群

司令官及び司令部付隊

国際活動教育隊

第1ヘリコプター団

座間駐屯地

部隊説明

中央即応集団司令部
司令部は隷下部隊と国際任務部隊を指揮します。

第1空挺団
主として落下傘降下により、各種の空挺作戦を遂行する陸上自衛隊唯一の空挺部隊であり、最精鋭部隊の一つです。

第1ヘリコプター団
大型輸送ヘリコプターをはじめ、多数のヘリコプターと固定翼機を保有する陸上自衛隊最大のヘリコプター部隊です。国家的行事の際には政府高官等の要人空輸も担任しています。

中央即応連隊
国際平和協力活動等の先遣部隊として行動する日本唯一の専門部隊です。

特殊作戦群
ゲリラや特殊部隊の攻撃に対処する陸上自衛隊唯一の特殊部隊です。

中央特殊武器防護隊
陸上自衛隊最大の特殊武器防護部隊で、生物剤や化学剤により汚染された地域を偵察し、無毒化します。

対特殊武器衛生隊
生物剤感染患者の応急治療を実施する部隊として陸上自衛隊で初めて編制された部隊です。

国際活動教育隊
陸上自衛隊初の国際活動に係る教育を専門とする教育部隊で、全国の隊員に対し、国際活動に従事する上での様々な教育及び部隊が実施する訓練の支援を行っています。

中央即応集団司令部付隊
司令部付隊は、司令官の管理・業務支援・通信を行います。

UND OF (国連兵力引き離し監視隊) 1996.2 ~ 2013.1

UNMIN (国連ネパール政治ミッション) 2007.3 ~ 2011.1

UNMIS (国連スーダン・ミッション) 2008.10 ~ 2011.9

MINUSTAH (国連ハイチ安定化ミッション) 2010.2 ~ 2013.3

UNMIT (国連東ティモール統合ミッション) 2010.9 ~ 2012.9

UNMISS (国連南スーダン共和国ミッション) 派遣施設隊 2012.1 ~ 2017.5

DAPE (派遣海賊対処行動航空隊) 2009.6 ~

DGPE (派遣海賊対処行動支援隊) 2014.7 ~

UNMISS (国連南スーダン共和国ミッション) 国際平和協力隊 2017.5 ~

国内外での活動一覧

【凡例】

- : 地震災害等
- : 火災等
- : 水害等
- : その他

【凡例】

- : 国際平和協力業務
- : 国際緊急援助活動
- : 海賊対処活動

歴代司令官

- 1 山口 浄秀**
2007年3月 ~ 2008年7月
- 2 柴田 幹雄**
2008年8月 ~ 2009年12月
- 3 宮島 俊信**
2009年12月 ~ 2011年8月
- 4 藤崎 護**
2011年8月 ~ 2012年1月
- 5 山本 洋**
2012年1月 ~ 2012年7月
- 6 日高 政広**
2012年7月 ~ 2014年8月
- 7 川又 弘道**
2014年8月 ~ 2016年6月
- 8 小林 茂**
2016年7月 ~ 2018年3月

最前任上級曹長

- 小畑 良弘**
准陸尉20.3~24.3(初代)
- 磯野 義浩**
准陸尉24.3~26.7(第2代)
- 早津 丈平**
准陸尉26.7~28.3(第3代)
- 齋藤 國利**
准陸尉28.3~30.3(第4代)